

行政評価シート(事後評価)

コード 4-5-1	事務事業名 収納事務(口座振替促進事務)	所管部課 市民部納税課
--------------	-------------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市税納付に、預貯金口座からの自動振替制度の利用促進を行うことにより、納期内自主納税が拡大し、安定した自主財源の確保を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等  様々な機会を通じ、口座振替制度のPRを行う。 簡便に手続きが出来る口座振替申込書を納税通知書送付時に同封する。 市税申告会場に口座振替申込書を備え付ける。 新築マンション居住者に最初の固定資産税課税年度前に、各戸に勧奨文書とともに口座振替申込書を送達(ポスティング)する。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		1,089	1,161	1,133	1,249
財源					
国庫支出金・都支出金		544	580	1,133	52
地方債	千円				
内: その他 ( )					
一般財源		545	581	0	1,197
所要人員(B)	人	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,093	4,081	4,081	4,081
臨時職員等賃金(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	5,182	5,242	5,214	5,330
単位当たりコスト					
(E)=(D)/( 口座振替利用者数 )	円	153	143	136	#DIV/0!

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
当初納通口座振替用紙封入数	実績値 通	58,258	61,963	60,931	
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市・都民税普通徴収、固定資産税・都市計画税の当初納通に封入した口座振替用紙の件数。封入件数が、平成19年度少なくなった理由は、平成18年度市・都民税普通徴収に新規納税者が多数できたためである。					
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一次	口座振替利用者数(市民、固定資産税)	目標値 人			41,000
		実績値 人	33,973	36,645	38,360
一次	口座振替利用率(市民、固定資産税)	目標値 %			38.6
		実績値 %	36.3	36.8	37.7
二次	収納率(市民税、固定資産税)	目標値 %			97.1
		実績値 %	97.1	97.3	96.9
(指標の説明・数値変化の理由 など) 口座振替利用納税者数(市・都民税普通徴収、固定資産税・都市計画税) 口座振替利用率 = 口座振替利用者数 ÷ 納税義務者数(市・都民税普通徴収、固定資産税・都市計画税) 収納率 = 収入額 ÷ 調定額(市・都民税普通徴収、固定資産税・都市計画税)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成18年度における口座振替利用率の26市平均は35.4%であり、本市は26市中14位である(市・都民税普通徴収、固定資産税・都市計画税)。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 マルチペイメント(コンビニ、クレジット等による納付)

コード 4-5-1	事務事業名 収納事務(口座振替促進事務)	所管部課 市民部納税課
--------------	-------------------------	----------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成19年度口座振替利用率は0.9%の伸びとなっている。前年度は、新規納税義務者の増加により0.5%の伸びとなっていたが、納税義務者数の安定により、利用率の伸びも回復してきている。</p> <p>徴収率の減については、税制改正により、個人市都民税の税額増等による、振替不納分の増による。</p> <p>少ない労力で口座振替促進等の宣伝効果を得るため、また、安定した自主財源確保のため、今後も、コミュニティバス等の車内広告、市内掲示板、納期懸垂幕の掲示、納期旗によるPR等も含め口座振替の利用推進を図っていく必要がある。</p> <p>平成20年度から市内銀行等にも納期懸垂幕を掲示依頼する。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>収納事務については、徴収率の向上に向けてマルチペイメントの導入等、継続的な納税環境の充実に努めているところである。このように納税方法が多様化する中であっても、口座振替の促進は、安定的な徴収や市の事務負担軽減等の観点から、今後もその重要性が変わることはないと考えられる。</p> <p>これまでの取組により、口座振替の利用率は年々微増傾向となつてはいるが、26市の中には40%を超える利用率の団体もあり、本市の実績が中位にあることを考えると、他市の取組状況を参考にし、さらなる利用率の向上を図ることが望まれる。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>口座振替利用者数や利用率は上昇傾向にあり、収納率も一定の高さを保っていることから、安定的な歳入の確保や事務処理の効率化等に寄与していると考えられる。一方で、マルチペイメント(コンビニ、クレジット等による納付)という新たな納付方法も導入されており、徴収率向上に向けて、多角的に取り組んでいくことも必要である。今後は、口座振替利用率に関する26市中の本市の実績が中位にあることを踏まえ、他市の取組状況も参考にしながら、口座振替利用率の向上に向けたさらなる工夫を図られたい。</p>